

会山行・冬山合宿B隊

## ボーコンの頭

2832m

後藤 隆徳

●あるき沢橋くボーコンの頭

▽91年12月28日く30日

▽CL後藤隆徳(44) 装備長岡浩

一(31) 食料中里宜資(29) 気象

酒井充(21)

『とりくみ』昨年の剣岳冬山をもつてとりあえず北アルプスの冬山計画を終らした現在、次代の若手を中心に再び南アから基礎的な冬山計画を始めた。

12月28日(雨)

△タイムV事務所6:00く奈良田

く荒川発電所手前トンネル15:30

(泊)

朝からの雨は奈良田でも降り続いてきた。過去にも入山日の雨は幾度となく経験しているが、これ程滅入るものはない。予想通り奈

良田のゲートは開いていたので荒川発電所手前のトンネルまで車で入る。荷物を降すと中里と酒井は車をゲートに戻し、中田に借用した50ccバイクで、雪道を苦労して戻ってくる。15時近くになっても雨は止まないで本日はこれまでとし、トンネルの中にテントを張る。ポールが一本なかった。装備は出発前に点検しないとけない。夜は大いに食べ飲んだ。

12月29日(雪)

△タイムV起床3:00く出発4:

30く池山小屋11:30く城峰14:00

(泊)

ようやく雨は雪になった。荷物を分けると全員22kg位だった。ランプをつけて出発。あるき沢橋で

明るくなった。幾組かのパーティーが出発準備をしている。アイゼンを付けて取付きの急な尾根を登る。ここを登るのは何年振りだろうか。随分昔の事の様に見える。尾根に出た所で下山してくる幾組かのパーティーに出会う。この時期の下山は学生が多いが、話を聞くと24日頃からずっと天気が悪くボーコンまでしか登れなかったとボヤいていた。

池山小屋は芦安村の手で再建され、小ぎれいなたたずまいになっていた。中に入り休憩。ここで泊りたい誘惑にかられるが、ここでは標高が低いし、まだ時間も早い。2300mまでがんばることにする。城峰の登りで先頭パーティーに追いついた。女性1人を含む静大の5人パーティーで胸までのラッセルに苦労している。上下不揃いのヤッケといい、全体的に質素な装備がいかにも学生らしくほえましかった。今日は池山の下